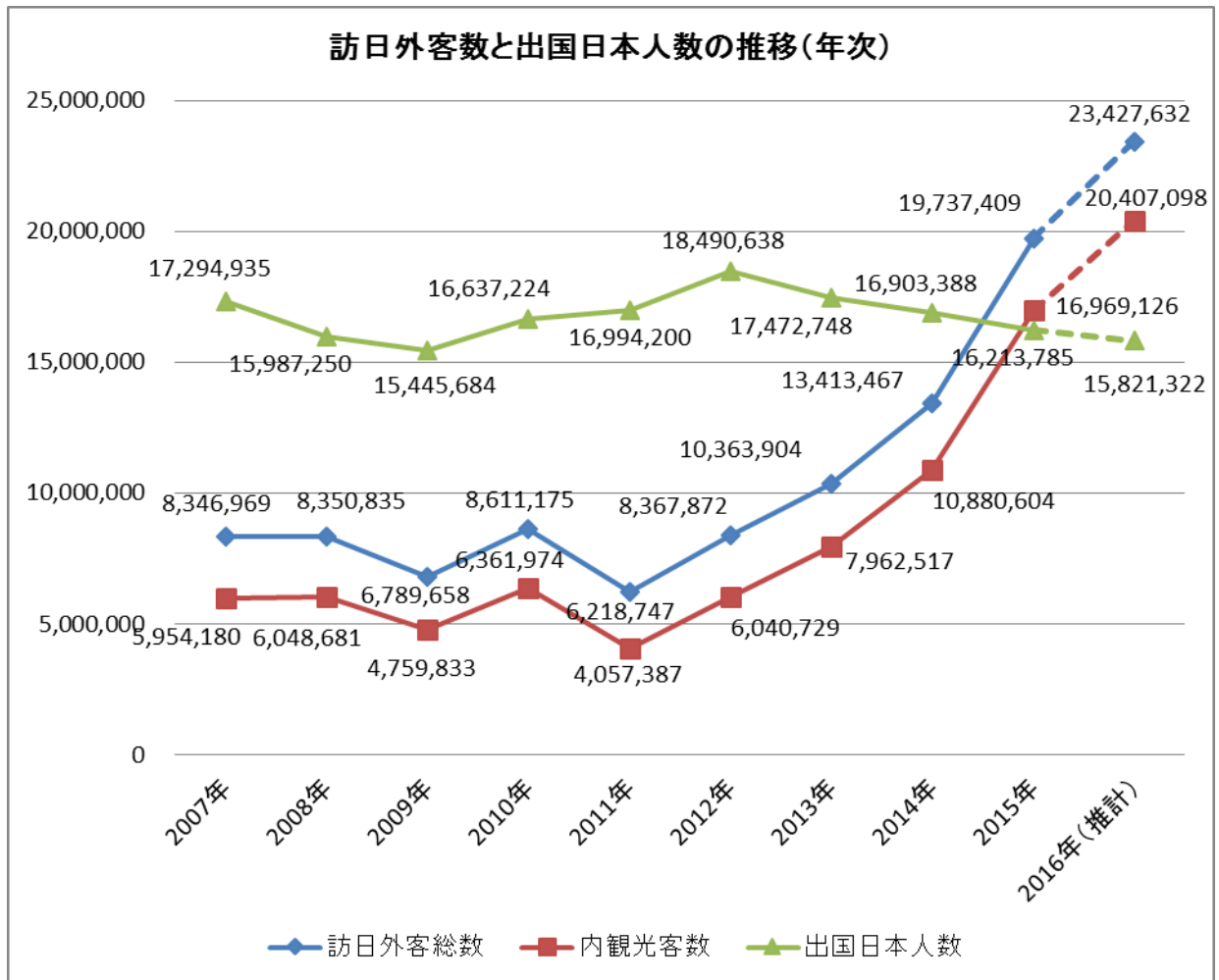


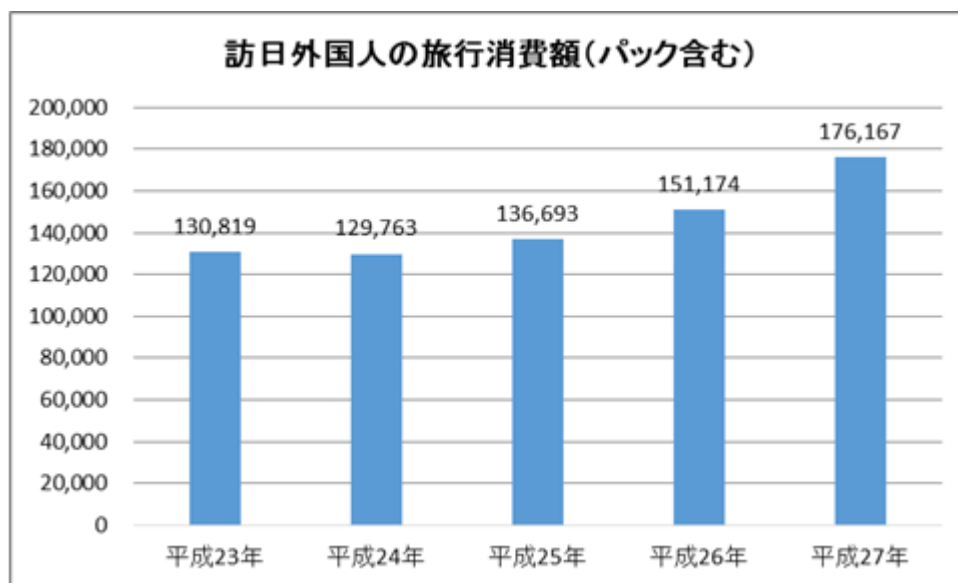
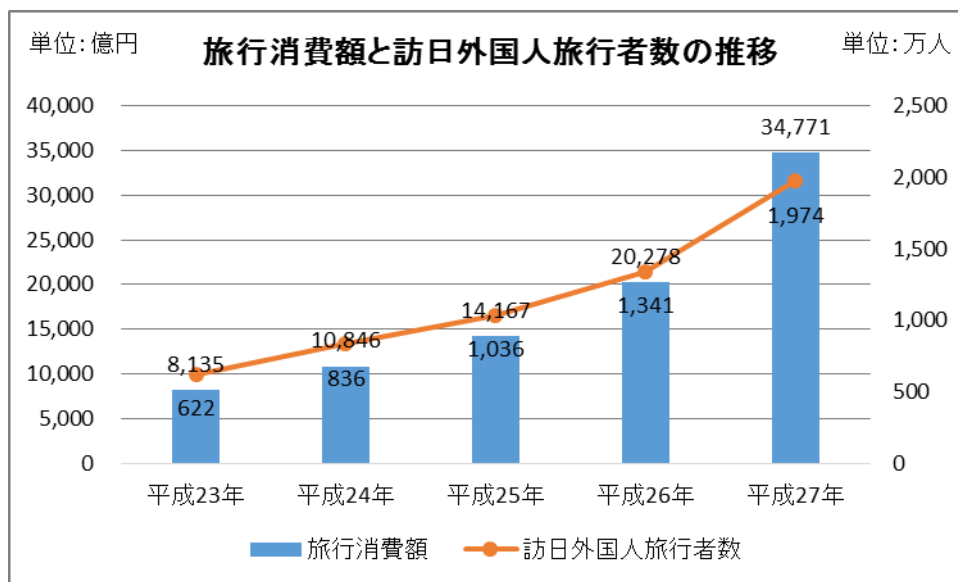
## 訪日外客数等に関するデータ（2016年6月）速報値

## 1. 訪日外客数と出国日本人数の推移（年次）



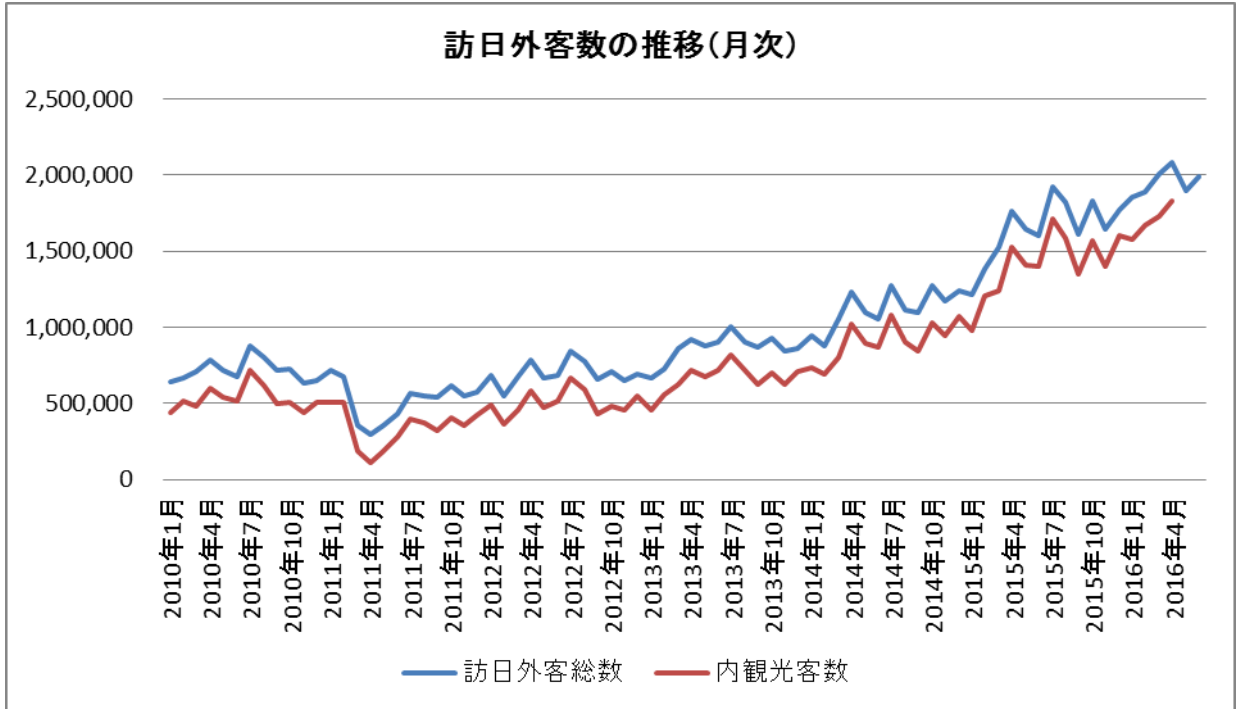
訪日外客数は2011年を底に、大幅に増加しています。特にビザの発給要件の緩和や円安効果によりロシアを除く多くの国の訪日外客数が過去最高を更新しています。2015年は2,000万人に迫る増加となり、2020年開催のオリンピックまでの目標数値2,000万人が3,000万人へと変更になっています。訪日外客数トップ3の中国、韓国、台湾だけで2016年1月～6月の上半期だけで760万人を超えています。反面、東京都心、大阪、京都ではホテル不足が深刻化しています。日本経済新聞によると2015年東京都内主要18ホテルの平均稼働率は84.5%で2014年の83.9%を上回り、客室単価も過半で10%以上上昇。大阪の主要12ホテルの平均稼働率は90.4%となっています。上記表は2016年上半期までの情報をもとに2016年の推計値（上半期数値×2で試算）を出しましたが、円高にふれているにもかかわらず、2,300万人超えの可能性が出てきました。

また、平成 27 年の訪日外国人の旅行消費額は 3 兆 4,771 億円となっており、前年（平成 26 年）の 2 兆 278 億円と比べて 71.5%増加しています。同時期の旅行者数の増加が 47.1%増加、一人当たりの旅行支出も 17 万 6,167 円と前年の 15 万 1,174 円と比較して 16.5%増加しています。

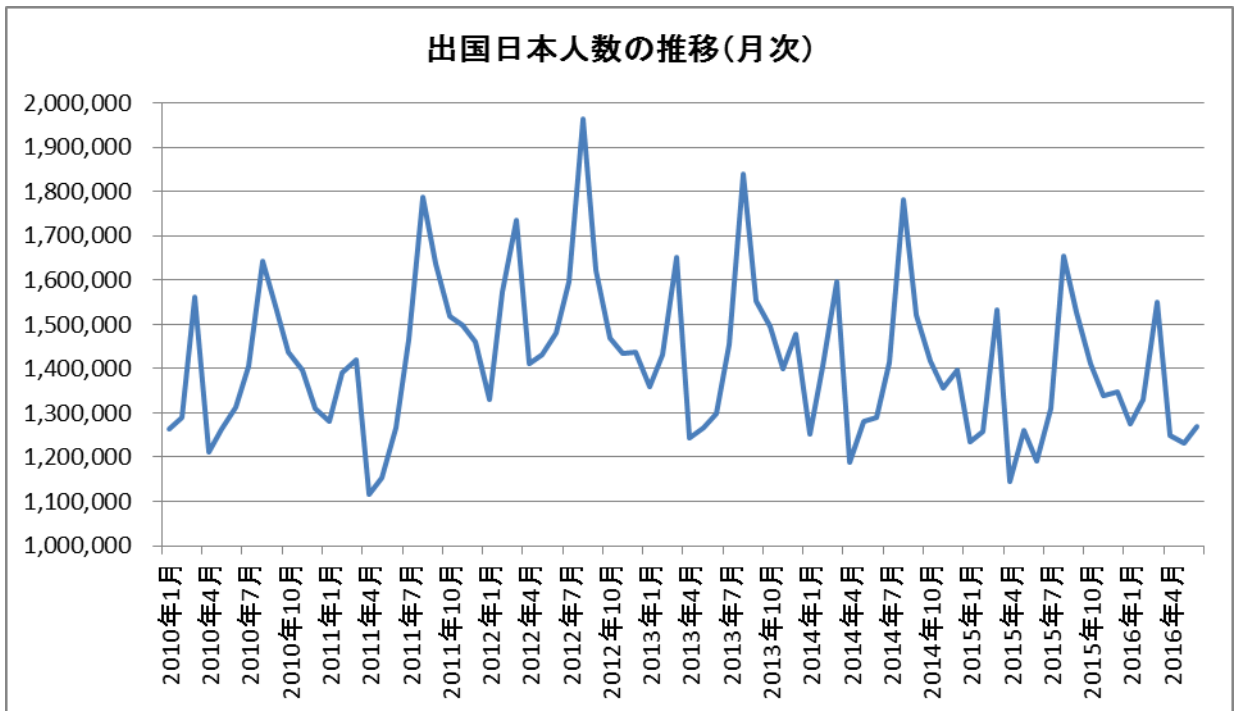


※ 上記費用には訪日外国人が日本の航空会社及び船舶会社に支払う国際旅費運賃（往復）は含まれていません。

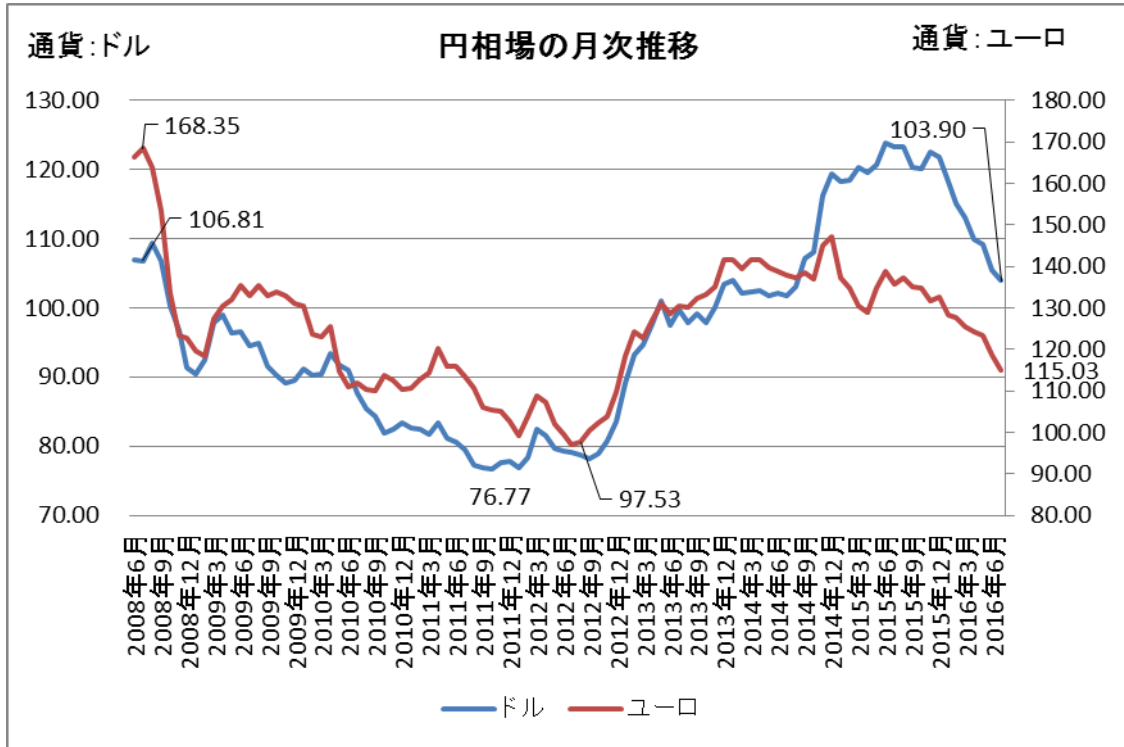
## 2. 訪日外客数の月別推移



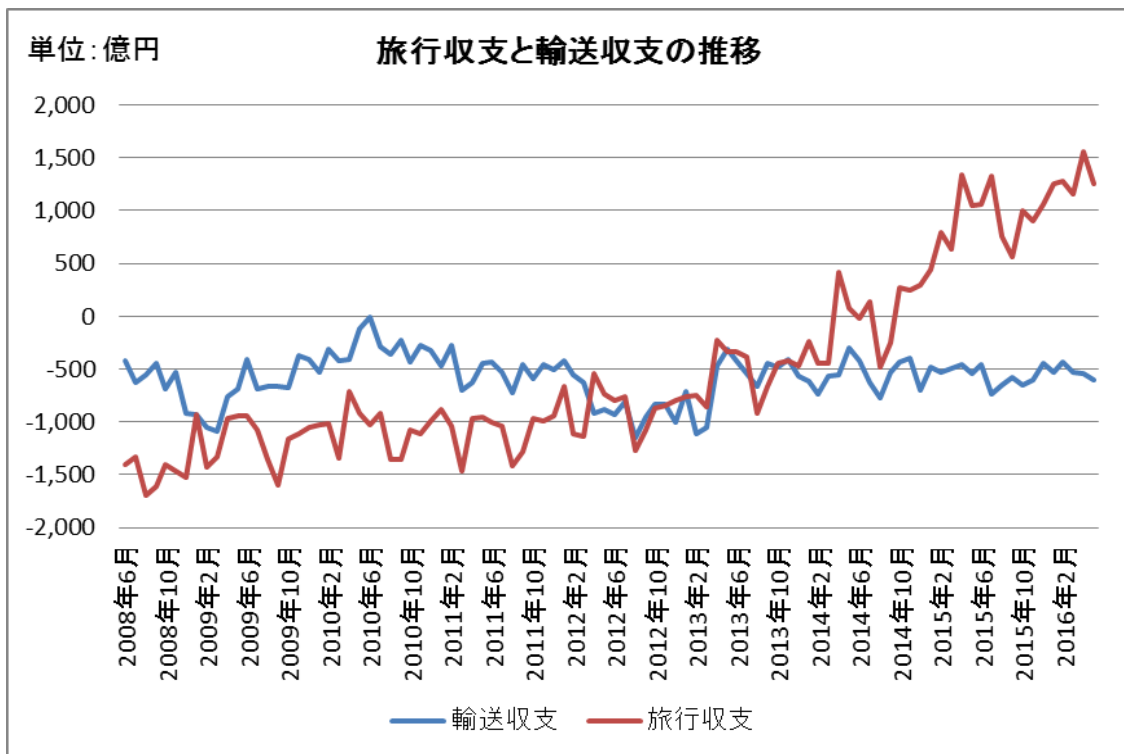
## 3. 出国日本人数の月別推移



#### 4. 為替水準



#### 5. 旅行収支と輸送収支



**【出典】**

日本政府観光局（JNTO）を基に株式会社リアルプロ・ホールディングスが作成  
財務省国際政策のデータを基に株式会社リアルプロ・ホールディングスが作成  
為替水準は日経新聞景気指標のデータを基に株式会社リアルプロ・ホールディングスが作成

**【用語解説】**

輸送収支：旅客運賃や財貨の移動、乗員を含む全ての輸送サービスに関する取引。

旅行収支：旅行者（ビジネス含む）が外国で使ったお金と外国人旅行者（ビジネス含む）が日本で使ったお金の収支。